

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 4月 1日
研究・研修課題名	院内体重計の白癬菌の有無と対策
研究・研修組織名(所属)	糖尿病ケアサポート委員会(内分泌代謝内科)
研究・研修責任者名(所属)	金崎啓造(内分泌代謝内科)
研究・研修実施者名(所属)	竹内志津枝(検査部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

高血糖は白癬菌感染のリスクとなることが知られており、糖尿病患者には白癬菌感染有病者が多い。一方、糖尿病患者は外来受診の際毎回体重測定が必須であり、靴を脱いで体重計にのり測定する体重測定が通常行われている。白癬菌は綿靴下、ストッキングを通過することが示されているため、体重計が白癬菌の感染源になる可能性がある。本研究の目的は、体重計に白癬菌が存在するか調査し、より簡便な除菌方法を検討することである。

②方法

①内科外来診体重計及び病棟の体重計から検体を採取(外来は1日の診察終了後、病棟は夕方に)し、培養検査にて白癬菌の有無を確認する。②消毒液(次亜塩素酸ナトリウム、アルコール)噴霧後または拭き取り後に検体を採取し、上記と同様に白癬菌の有無を確認する。③県内の糖尿病外来での体重測定時の靴脱着の有無、白癬菌への対応についてアンケートを郵送し調査を行う。

③成果

①糖尿病外来の診察がある月曜日、火曜日、水曜日の診察終了後、A4病棟、看護外来、栄養指導室の体重計の拭き取り調査を実施した。

使用ごとに除菌を行っている栄養部の体重計は何も検出されなかったが、その他の体重計はブドウ球菌、カンジダや糸状菌などが検出されたが、白癬菌の検出はなかった。

②除菌後は菌量の減少が見られたが、完全に除菌はできていなかった。

③34施設にアンケートを送付し、32施設46個の体重計の回答を得た。

靴を脱ぎ靴下を脱がないで測定している体重計がほとんどであった。靴のまま測定している体重計が4施設4台、靴下まで脱いで測定する体重計が2施設2台であった。5施設6台は患者さんごとに除菌を行っているが、23施設36台は診察終了後や1日2回等患者さんごとではなかった。また全く除菌していない体重計も4施設4台あった。新型コロナ感染の流行が始まってから除菌の頻度や範囲を拡大している施設が多かった。

患者さんごとに除菌を行うこと大変であり、完全に除菌できないため、内科診察室の体重計はくつのまま体重測定を行うこととした。